

国立アイヌ民族博物館 第12回特別展示



コ フ ン テ と ル ウ ン ペ

2026.
9.19^土 →
11.23^{月・祝}

国立アイヌ民族博物館
特別展示室

北海道白老郡白老町若草町2丁目3番1号

主催:国立アイヌ民族博物館 特別協力:公益社団法人北海道アイヌ協会

協力:青森市教育委員会、旭川市博物館、網走市立郷土博物館、浦河町立郷土博物館、大臼山道場院善光寺、長万部町教育委員会、帯広百年記念館、萱野茂二風谷アイヌ資料館、
釧路市立博物館、静岡市立芹沢銑介美術館、市立函館博物館、東京国立博物館、東北福祉大学芹沢銑介美術工芸館、天理大学附属天理参考館、苫小牧市美術博物館、
日本民藝館、登別アイヌ協会、登別市教育委員会、北海道大学植物園・博物館、北海道立北方民族博物館、松前町教育委員会、早稲田大学會津八一記念博物館

上:コソント(樺太アイヌ) 縞箔 白練緯地桐竹鳳凰草花鶏模様 東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives、下:ルウンペ 釧路市立博物館蔵



NATIONAL AINU MUSEUM
国立アイヌ民族博物館

武家女性の小袖が

アイヌの盛装に

第1章

アイヌのコソント

口承文芸には、コソントをまとったカムイがたびたび登場し、重要な装いであったことがうかがえます。今に伝わるコソントを一堂に紹介します。なかには、安土桃山時代の小袖が、そのまま伝わる貴重な一着も。



菅野茂 風谷アイヌ資料館蔵

重要有形民俗文化財



大白山道場院 善光寺蔵

小袖から広がる

多彩なデザイン

第2章

コソントとルウンペ

本州からもたらされた布は、ルウンペの飾りの布としても大切に生かされました。小袖の布を大胆に配したもののや、細く裁って繊細な文様を描いたものなど、多様な装飾をご紹介します。

国立アイヌ民族博物館
第12回特別展示



国立アイヌ民族博物館蔵

前期展示
9.19^土
→10.18^日
後期展示
10.20^水
→11.23^{月・祝}

※展示期間の表記のないものは
通期展示を予定しています

コソントと
ルウンペ

布は文化を越える。

もうひとつの装い。

アイヌの「コソント」(北海道)、「コソント」(樺太)は、「小袖」に由来するアイヌ語です。本州で武家女性が身につけていた小袖は、アイヌ文化のなかで男性が儀礼の際に羽織る盛装となり、その布は「ルウンペ」と呼ばれる衣服の文様や装飾にも用いられました。本展では、布を通した装いの交流がどのように展開したのかを紹介します。あわせて、現代へ受け継がれる技術や表現にも注目します。



縫箔 白地雪持柳扇面肩裾模様
安土桃山時代 東京国立博物館蔵
重要文化財 前期展示

Image: TNM Image Archives

第3章

小袖の世界

現代のきものの原型である「小袖」。安土桃山時代から江戸時代にかけての小袖を中心に展示し、多彩な意匠や染織技術をご覧ください。あわせて、アイヌの文様が本州にも広がったことを通して、装いが結んだ文化のつながりをたどります。



打掛
白綾子地紗綾形梅枝牡丹菊花束模様
江戸時代 東京国立博物館蔵

Image: TNM Image Archives

華やかな小袖が集う



苫小牧市美術館蔵

第5章

ルウンペの現在

受け継がれてきた技術をもとに、新たな技法やデザイン、配色を取り入れながら、現代の作り手によって受け継がれるルウンペをご紹介します。素材や質感、色味の工夫によって、その表情は華やかにも落ち着いた雰囲気にも広がります。伝統を守る思いと新たな挑戦が息づく、くらしを彩る衣服ルウンペをぜひご覧ください。

受け継がれる手仕事

いまを彩るルウンペ



国立アイヌ民族博物館蔵

第4章

さまざまなルウンペ

絹や木綿、ウール、ヨーロッパのプリント布まで、多彩な布を用いたルウンペ。一枚一枚の布の色や柄を生かした文様や、エムシアツ(刀掛帯)などの服飾品とともに、さまざまな布を用いた装飾をご紹介します。



帯広百年記念館蔵



アイヌ民族文化財団蔵



長万部町教育委員会蔵



浦河町立郷土博物館蔵

関連イベント

関連シンポジウム

コンサートとルウンペからみるアイヌの衣文化

—交流・技術・継承・保存—

アイヌの衣文化について、
歴史、交流、技術、修復などさまざまな視点で考えます。

- ◆日時:10月31日(土)13:30~17:00
- ◆場所:北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎) 赤れんがホールB
北海道札幌市中央区北3条西6丁目1番地
- ◆定員:90名 ※予約不要、当日先着受付

アイヌ文様を刺繍した小さい巾着を作ろう!

- 布にアイヌ文様を刺繍し、小さな巾着をつります。
- ◆日時:10月4日(日)・24日(土)、10:30~13:30(90分)
 - ◆場所:国立アイヌ民族博物館 交流室
 - ◆定員:各回10名、無料 ※事前申込制

ギャラリートーク

- 本展担当者が展示室で見どころを解説します。
- ◆日時:9月19日(土)、26日(土)、
10月10日(土)、11月8日(日)、14日(土) 14:00~14:30
11月3日(火・祝) 10:30~11:00
 - ◆場所:国立アイヌ民族博物館 特別展示室
 - ◆定員:20名 ※予約不要、当日先着受付

バッグにアイヌ文様を描いてみよう!

バッグにクレヨンでアイヌ文様を描いたり、
トゥレップポンのスタンプを押したりして、
オリジナルのエコバッグを作るイベントです。

- ◆日時:9月21日(月・祝)13:30~15:00
- ◆所要時間:30分程度
- ◆場所:国立アイヌ民族博物館 交流室
- ◆定員:30名、無料
※予約不要、当日先着受付

子ども
向け



おしゃべりギャラリートーク

- 担当者と一緒に展示室をまわって、
アイヌの衣服について学ぼう。
- ◆日時:9月22日(火・休)、11月3日(火・祝)14:00~14:30
 - ◆場所:国立アイヌ民族博物館 特別展示室
 - ◆定員:15名 ※予約不要、当日先着受付

子ども
向け

休館日

月曜日(祝日または休日の場合は翌日以降の平日)
※9月21日(月・祝)、24日(木)、10月12日(月・祝)、
11月2日(月)、3日(火・祝)、23日(月・祝)は開館。
※10月19日(月)は、展示替えのため特別展示室を閉室いたします。

料金

国立アイヌ民族博物館の観覧料は、
民族共生象徴空間(ウポポイ)の入場料に含まれます。

●民族共生象徴空間(ウポポイ)の入場料(税込)

	個人	年間バスポート
大人	1,200円(960円)	2,000円
高校生	600円(480円)	1,000円
中学生以下	無料	

*()は10名以上の団体料金。*障害者とその介護者各1名は無料です。入館の際に証明書等をご提示ください。*入場予約方法や最新の情報は、ウェブサイトからご確認ください。

トゥレップポンのおさんぽ特別版

トーハクくん、ユリノキちゃんとトラりんが遊びに来るよ!

東京国立博物館公式キャラクターのトーハクくん、ユリノキちゃん、
京都国立博物館の公式キャラクターのトラりんが、
ウポポイPRキャラクターのトゥレップポンと一緒にさんぽするよ。

- ◆日程:9月21日(月・祝)、22日(火・休)
- ◆場所:国立アイヌ民族博物館 エントランス



アイヌと無形文化遺産

第20回東京文化財研究所
無形文化遺産部
公開学術講座

—ウポポイにおける活動を中心として—

- ◆日時:10月2日(金)13:30~17:00
- ◆場所:東京文化財研究所 地階セミナー室
(東京都台東区上野公園13番地43号)
- ◆定員:100名 ※事前申込制

装いで楽しもう!

きもの・浴衣・アイヌ刺繍を施した
衣服やバッグなどを身につけて
ご来館いただいた方に、
当館オリジナルグッズをプレゼント!
※アイヌ文様のプリント加工や
プリント柄のものは対象外です

イベントの詳細はウェブサイトをご覧ください
<https://ainu-upopoy.go.jp/event/amip2026/>



ウポポイを気軽にたっぷり楽しむバスプラン

ウポポイ 満喫直行バスツアー

【民族共生象徴空間】

夏〜秋の週末&お盆期間限定運行

運行期間
2026年10月31日(土)までの
土・日・祝日、
8月10日(月)・12日(水)・
13日(木)・14日(金)

前日(20時)までのお申し込みOK! & 1名様以上で催行!

※満員の場合はご利用できない
場合もございます。

申込ページは
こちら



アクセス

札幌から約1時間、新千歳空港から約40分
●乗用車…白老インターから車で約10分
●電車…JR白老駅から徒歩約10分
電車を利用してウポポイへご来園の方は、
「白老町交流促進バス」のご利用が便利です。



ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

国立アイヌ民族博物館は
民族共生象徴空間(愛称「ウポポイ」)内にあります。 北海道白老郡白老町若草町2丁目3番



NATIONAL AINU MUSEUM
国立アイヌ民族博物館

ウポポイウェブサイト
<https://ainu-upopoy.go.jp/>

